

教育研究業績書

2024年10月22日

所属：英語キャリア・コミュニケーション学科

資格：教授

氏名：中原 朗裕

研究分野	研究内容のキーワード
リーダーシップ	リーダーシップ、コーチング、コミュニケーション、人材育成、組織開発、キャリア
学位	最終学歴
経営学修士	関西学院大学大学院商学研究科

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 武庫川女子大学アメリカ分校 副学長	2017年07月～現在	本学のアメリカ分校は、ワシントン州のスポケーン市にある。ワシントン州は兵庫県と、スポケーン市は西宮市と姉妹都市提携を結んでおり、それぞれ50年を超える友好の歴史がある。アメリカ分校では、学生たちが生きた英語を学べるよう、様々な留学プログラムを用意している
2. 英語学習コーチング	2016年04月～	学生自身が英語を学ぶ目的や意義を見出し、自らが達成したい目標を明確にし、自分の学習スタイルや強みを活かした、自立的な英語学習を支援する
3. 武庫川女子大学・同短期大学部 共通教育科目「人を育てるコーチング」(アクティブ・ラーニング)	2016年04月～	コーチングについての基礎知識を学び、それを実際に経験するプロセスを通してコミュニケーション力を高め、社会人として活躍する際の基礎力を修得する
4. 西宮市立小学校長会 管理職研修	2015年08月	自発的な行動を促すコーチングを習得し、部下のパフォーマンスを最大限に引き出す存在になる。また教育現場でのマネジメント力を高め、子供たちの笑顔あふれる学校経営を実現する
5. 私立学校法人 教職員管理職研修	2015年08月	管理職としての「ありたい姿」と、部下との理想的な関わりを考える。管理職の役割を認識し、コーチングの基本スキルを学ぶ
6. 関西学院大学サッカー部 人間力向上研修	2014年10月	相手を理解しコミュニケーションを円滑にすることでチーム力を高め、日本一という目標に挑戦する
7. 大手企業 ファシリテーション研修	2014年04月	ダイバーシティを職場で推進していくための職場実践に向けて、ミーティング運営のポイント、ならびにファシリテーションを実践するために必要となる基本的なスキルと知識を習得する
8. ストレングスファインダー (R)を活用した人材および組織開発	2014年03月～	ストレングスファインダー(R)はアメリカの世論調査&コンサルティングのギャラップ社が、一人ひとりが自分の得意を見極め、日々自分の強みを使って仕事をすることで、楽しく、しかも効果的に成果を出してもらうために開発したツール
9. 大手企業 OJTトレーナー研修	2013年04月～	コーチングマインドを職場のチーム内に広げ、人を育てる風土を醸成する意識を各人が持つ。また、そのために実際に行動している状態を構築する
10. 大手企業 新入社員ビジネススキル研修	2013年04月～	プロフェッショナルに求められる仕事の基本動作、心構えとマナーを体得して、仕事の現場で実践できるようになる
11. 一般社団法人 金融財政事情研究会 支店長経営塾	2012年09月～	部下を自律型人材へと育てるコーチングを習得し、支店長として経営やマネジメントに活かす
12. 大手企業 若手社員キャリア研修	2011年04月～	入社3年目の成長実感と自信を持ち、今後の成長に向けて、今後何を成し遂げたいのかという目的意識を持ち、自身の実現したいキャリアを考える
13. 奈良県看護協会 実習指導者研修	2009年08月～2015年08月	自分の育てられてきた経験を振り返り、実習指導者としての「ありたい姿」と、実習生との理想的な関わりを考える。実習指導者の役割を認識し、コーチングの基本スキルを学ぶ
14. 大手企業 管理職マネジメント研修	2006年04月～	部下を自律型人材へと育てるコーチングを活用したマネジメント力の向上
2 作成した教科書、教材		
1. 「人を育てるコーチング」	2016年04月～	武庫川女子大学・同短期大学部 共通教育科目 教材

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
2. 「部下を育てるコーチング」	2006年04月～	研修教材
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 企業内研修及びコーポレート・コーチング	2005年04月～	<ul style="list-style-type: none"> ・上場企業及び中小企業、地方銀行及び信用金庫、大学、専門学校、医療機関など ・主な対象者は、経営者、管理者・営業社員・技術社員、新入社員など ・主なクライアントは、会社経営者・経営幹部・管理者・自営業者・コーチなど ・主なコーチングテーマは、組織改革・リーダーシップ開発、ビジョンメイキング・業績アップ、マネジメントスキル向上、部下育成、社内コミュニケーションの活性化、人間関係の改善など ・これまでに延べ約100人以上への個人コーチング実施（約1,000時間以上）
2. エグゼクティブ・コーチング及び個別コーチング	2004年04月～	
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. NPO学習学協会認定 英語学習コーチ	2016年01月～現在	<p>自立的な英語学習を支援するコーチング Completed Gallup's strengths coaching certification program and has demonstrated outstanding commitment to using strengths-based development to help others learn, grow, develop, and succeed.</p> <p>The designation is earned by demonstrating knowledge and proficient use of core coaching skills through a comprehensive application and evaluation process designed to ensure high standards for the coaching profession and the clients it serves.</p>
2. ギャラップ社認定ストレングスコーチ Gallup-Certified Strengths Coach - Gallup (US)	2014年03月06日～現在	
3. 国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ PCC (Professional Certified Coach) - International Coach Federations	2008年02月25日～現在	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. Spokane Mayor's Council on Multi-Cultural Affairs	2017年11月02日～2019年12月31日	多文化政務に関するスポケーン市長の諮問機関 委員
2. 西宮市教育委員長	2014年10月01日～2017年03月31日	
3. 西宮市教育委員	2011年10月03日～2017年03月31日	
4 その他		
1. (公財)西宮市国際交流協会 評議員	2005年04月～2011年09月	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
3 学術論文				
1. Identifying Virtuous Characteristics of Servant Leadership Applied to Japanese Organizational Culture	単	2024年3月21日	Gonzaga University	I explore the age when Japanese people possessed unique virtue and spirituality, and their leadership functioned effectively. Furthermore, I deconstruct some of Nitobe's (1900) concepts of Bushido: Soul of Japan and align them with more nuanced and specific constructs in the current literature. I identify the virtuous characteristics of Bushido that apply to servant leadership to develop leadership in Japanese organizational culture. I arrived at a proposed pathway for servant leadership that aligned with

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
				Japanese virtue and spirituality. Servant leadership aligned with Japanese virtuous characteristics is necessary, measurable, trainable, and within reach for Japanese leaders who extend their grasp.
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 西宮市スポークンウィーク特別講演「スポークン市との姉妹都市交流について」		2015年03月	西宮市	西宮市民対象に姉妹都市スポークン市の魅力や交流の歴史について講演
2. にしのみや留学生日本語スピーチ大会		2015年02月	(公財)西宮市国際交流協会	西宮市内大学に在籍の留学生や日本語学習者によるスピーチ大会において審査委員長として講評
3. Washington State Sister Cities Conference 2012		2012年10月	Washington State Sister Cities Association	Case Study of Exchange Program between Nishinomiya and Spokane
4. Sister Cities International Annual Conference 2005		2005年07月	Sister Cities International	Showcase of Exchange Program between Nishinomiya and Spokane
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2024年2月8日～現在	Sister Cities Association of Spokane, Board of Directors
2. 2024年2月8日～現在	Spokane-Nishinomiya Sister City Society, President
3. 2017年5月～現在	西宮スポークン姉妹都市協会 名誉会長
4. 2015年10月～2016年10月	西宮市・スポークン市姉妹都市提携55周年記念事業 実行委員長
5. 2010年10月～2011年10月	西宮市・スポークン市姉妹都市提携50周年記念事業 実行委員長
6. 2010年04月～2017年05月	西宮スポークン姉妹都市協会 会長
7. 2004年01月～2005年12月	(一財)西宮くすの木会 理事長
8. 2003年01月～2017年05月	西宮スポークン交換高校生実行委員会 委員長